令和６年度喜入ブロック小・中連携研修会報告

令和６年度は、前之浜小学校において小・中連携研修会を行いました。喜入ブロック内小中学校教職員が参加し、「９年間を見通した確かな学力の育成や生徒指導の充実を図る小・中連携」をテーマに意見を交わしました。

１　日　時　　令和６年６月２４日（月）　１５：００～１６：３５

２　参加者　　教職員６５人（瀬々串小・中名小・喜入小・一倉小・前之浜小・生見小・喜入中）

３　内　容

（１）分科会

学習指導部会、生徒指導部会、特別支援教育部会、養護教諭部会に分かれて実施しました。各部会で、各校の現状や課題をもとに、意見交換をして共通実践事項について話し合うことができました。

ア　学習指導部会

家庭学習、ICT の活用、タブレットの持ち帰りなどについて、各学校の実態や指導における課題を出し合い、グループで実践例や指導法について話しました。中学校進学時にレディネスを揃えていくためにどのようにすればいいかについても協議しました。

【協議内容】

■　「ICT を効果的に活用していくためにどのような手立てをしていけばいいか。」や「持ち帰りをさせた時に学習以外でも使用する児童生徒へどのような指導をしているか。」について実態や指導法についての意見交換。

■　基礎的・基本的事項を定着させるために音読の指導は各学校で徹底して宿題等でもさせていきたい。

■　学年に応じて段階的にレベルアップしていく宅習ができるようになるために「喜入の宅習の仕方」を作成し、各小中学校に配布してはどうか。

【今後の取組・共通実践事項】

■　中学校から学習面における困っていることを出してもらい、各小学校で実践できる所から各教科で取り組んでみる。

イ　生徒指導部会

小・中学校の教職員間の交流を深められるよう、グループに分かれ意見交換を行いました。主にいじめ・不登校、基本的生活習慣、友人関係等について話し合いを行いました。

【協議内容】

■　中学校から不登校傾向の生徒が多く、友人間のトラブルも少なくないことから小学校時のトラブルの情報共有や新１年生の学級編成の協力のあり方についての意見交換。

■　基本的生活習慣が確立されていなかったり、言葉遣い・SNS のトラブルが多く見られたりすることから支援のあり方や手立てについての意見交換。

■　小規模校では友人関係が固定化しやすいことから積極性や社会性を身に付けさせる指導も必要ではないか。

【今後の取組・共通実践事項】

■　小学校６年次のトラブル事案等は中学校と連携しているが、その前の学年（特に３・４年次）の情報も共有できるにする。
■　場に応じた行動や態度を考えられる指導を各小学校で実践を図る。サポートチーム会議等で中学校の困っていることを共有する。

ウ　特別支援教育部会

異学年で学ぶ際の授業の工夫や学力差に対応した授業の工夫、中学校へ進学するまでに育てたい力などについて、話し合いを行いました。

【協議内容】

■　通常学級で困り感や気になる児童生徒について小学校から中学校へのつなぎを大切にしていく必要がある。「どんなサポートをしたのか」や「保護者の考えはどうなのか」など就学相談等に関わらず連絡がしっかりとれるようにしていく必要がある。
■　中学校進学への不安感を払拭するために、学校参観週間等を利用して授業参観の機会を設けて安心できる環境作りをしていく必要がある。

【今後の取組・共通実践事項】

■　個別の支援・指導計画の様式が各小学校で異なる。中学校を中心として、統一化に向けて取組を進めていく。
■　個別の支援・指導計画にサポートや保護者の考え等を明記するなど引継をしっかりしていく。

エ　養護教諭部会

歯科保健・心の健康・学習時や給食時の姿勢・メディアの使用・学校保健委員会の効果的な運営や内容について課題を共有しました。

【協議内容】

■　う歯の治療率が低下している。歯垢の不着等がみられることから歯みがきが不十分なのではないかと考えられる。
■　メディアの使用について、就寝時刻が遅くなり、生活リズムの乱れにつながっている様子が見られる。ゲームへの依存や視力低下も見られ、メディアコントロールが必要である。
■　心の健康について、保健室登校や不登校、遅刻欠席について情報の共有をした。
■　学習時等、姿勢が崩れてしまう。机・イスの調整も必要である。

【今後の取組・共通実践事項】

■　メディアの使用について、使用方法を間違うと心と体に与える影響について理解させ、特に寝る１時間前は使用しない。中学校のテスト期間に合わせて、アウトメディアデー等の工夫をする。
■　正しい姿勢について各学校で実施している指導を徹底する。

（２）全体会

各部会で協議された内容について報告をし、共通実践事項等について共有し、今後、各校で取り組んでいくことを確認した。